

KIRIN



よろこびが
つなぐ世界へ

Joy brings us together

FANCL

正直品質。

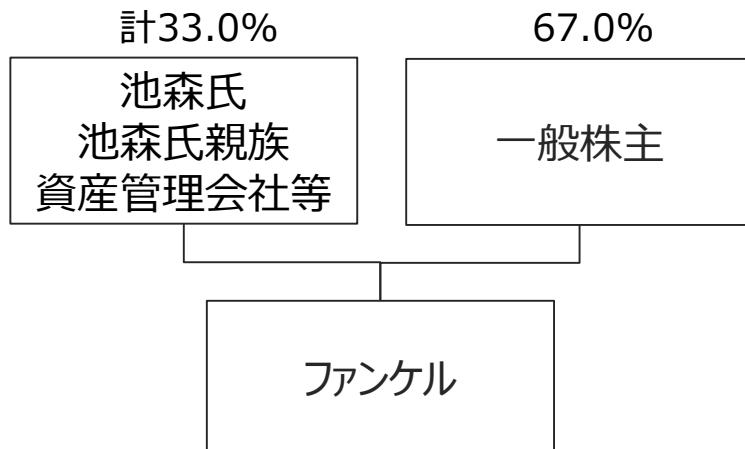
キリンホールディングスおよびファンケルによる 資本業務提携について ～社会課題の解決を通じて持続的な成長を目指す～

2019年8月6日
キリンホールディングス株式会社
株式会社ファンケル

- このたびキリンホールディングス（以下キリン）とファンケルは、資本業務提携契約を締結
- キリンはファンケルの株式を、ファンケル創業者である池森氏、その親族および資産管理会社等から譲り受ける
- 株式の取得総額は1,293億円、議決権割合は33.0%となる。
- 株式取得予定日は、2019年9月6日（予定）
- ファンケルはキリンの持分法適用会社となる予定

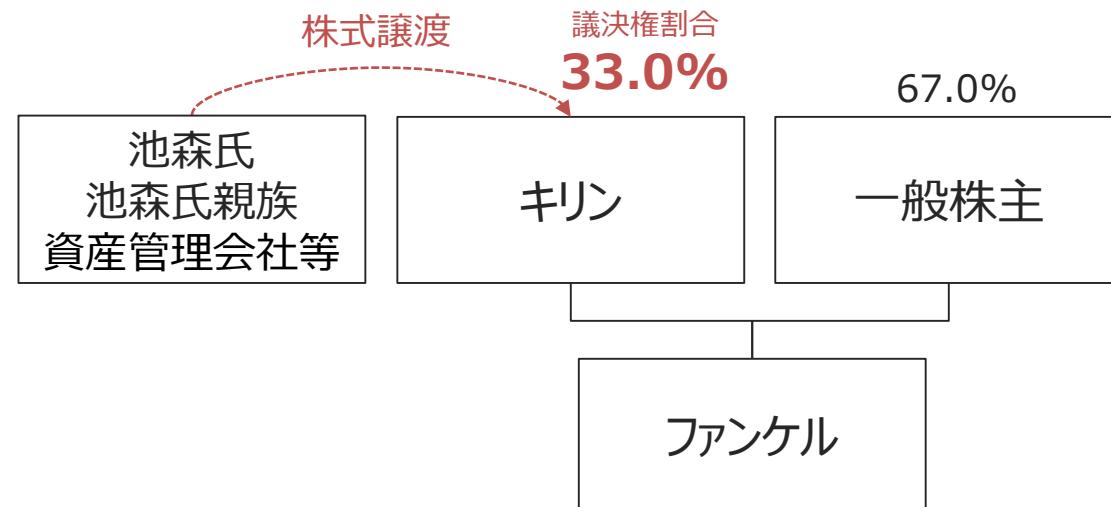
取引前

譲渡対象となる株式は、池森氏および池森氏の親族などがそれぞれ保有



取引後

キリンは、池森氏・池森氏親族・資産管理会社等と、それぞれ相対取引を行い株式を取得する予定



キリンの「健康」への取り組み

- 長期経営構想（KV2027）

「食から医にわたる領域で価値を創造し、世界のCSV先進企業となる」

- CSVパーサス

CSV重点課題である「健康」の解決を通じて、「クオリティ・オブ・ライフの向上」「疾病の予防」を図るとともに、キリングループの長期にわたる持続的な成長につなげていく



- キリン独自のユニークな事業ポートフォリオのもと、長年にわたり「健康」の課題解決に取り組んできた



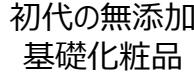
- 2019年-2021年中期経営計画

「食領域」と「医領域」の中間に、キリン独自の「医と食をつなぐ事業」を立ち上げ、育成する

→ グループ内再編により、協和発酵バイオを「医と食をつなぐ事業」の中核事業会社へ



- ファンケルは、「美」と「健康」を事業ドメインに、世の中の「不」の解消に取り組んできた



初代の無添加基礎化粧品



発売当初のサプリメント



「VISION2030」 -世界中を、もっと美しく、ずっと健やかに-

2030年のファンケルグループは、
ベンチャーとして様々な事業領域に挑戦し、
それぞれの事業が、日本にとどまらず広く世界で、
より多くのお客様の美しく健康で豊かな生活を支え、
信頼され愛される企業集団となることを目指します。

よろこびがつなぐ世界へ



目指す方向性

- 「健康」
 - クオリティ・オブ・ライフの向上
 - 疾病の予防



- 美しく健康で豊かな生活を支える
- 健康寿命の延伸

事業領域

- 「食領域」「医領域」
- 「医と食をつなぐ事業」



- 「美」と「健康」

強み

- ブランド（午後の紅茶、生茶など）
- R&D（発酵・培養・飲料製造）
- 素材（アミノ酸・免疫・脳機能など）
- チャネル（自動販売機）



- ブランド（ファンケル、アテニアなど）
- R&D（無添加技術、製剤・加工技術）
- 素材活用（生活習慣対策サプリメント）
- チャネル（店舗・ECでの直販）

社会課題の解決を通じて持続的な成長を目指す

- ファンケルは、**直販部門を持つ、研究開発型メーカーとして成長**

ファンケルの強み

研究開発力

- ・原料の調達から製造、容器にまでこだわった「無添加」化粧品
- ・サプリメントのパイオニアとして25年にわたる研究開発の蓄積。
機能性表示食品 サプリメント市場では、トップシェア

ファンケルの強み

販売チャネル

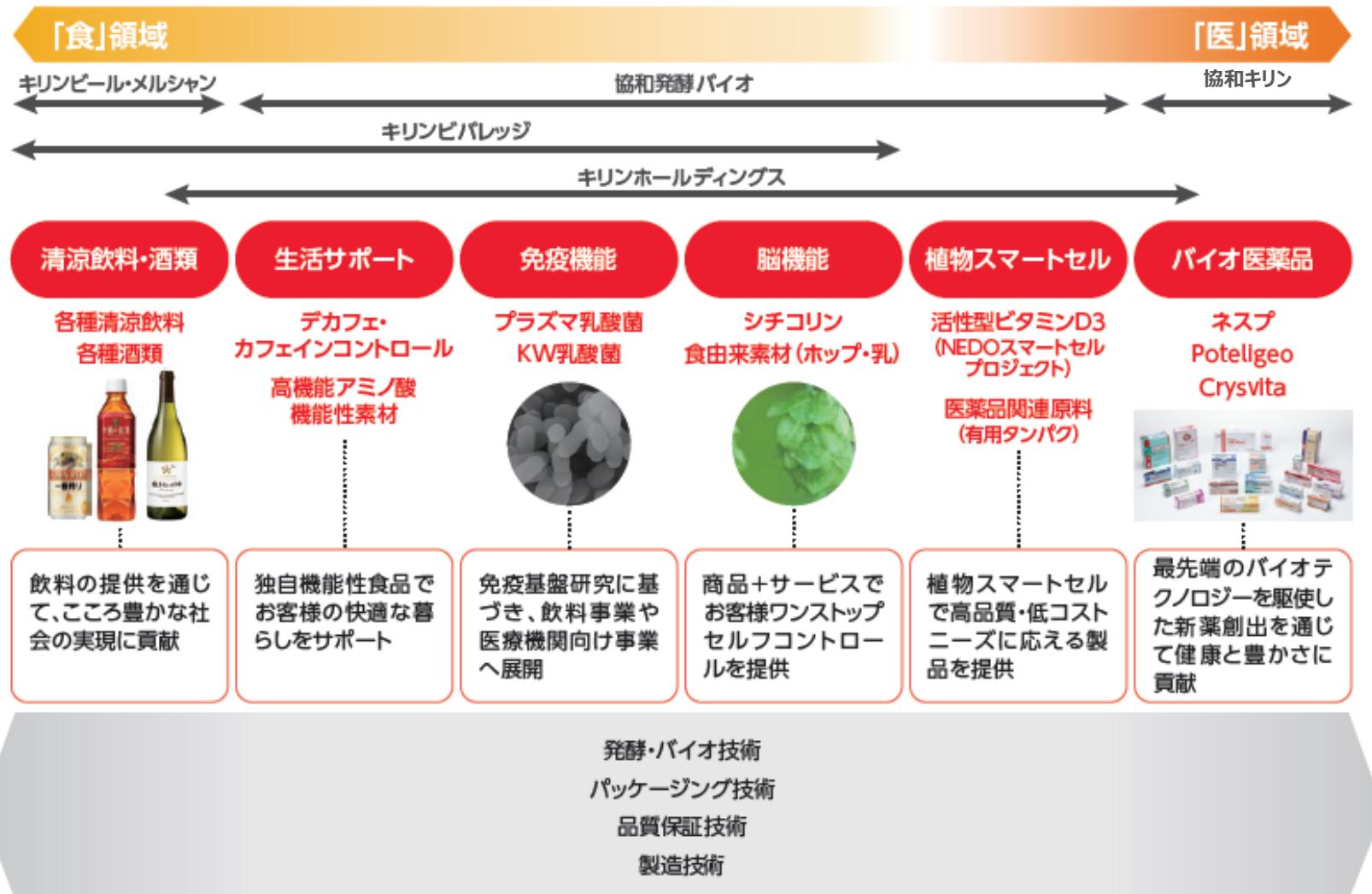
- ・通信販売、直営店舗販売、流通チャネルに広く展開
- ・通信販売、直営店舗販売が売上の7割以上を占める。
お客様とのきめ細やかなコミュニケーションを実現

ファンケルの強み

お客様との信頼

- ・1980年の創業以来、お客様との信頼づくりを大切に
- ・ファンケルブランドへの強い信頼と愛着を持って、
長く継続的にお付き合いいただいているお客様が多い

- 「食領域」・「医領域」で培ってきた**ブランド力・研究開発力**に加え、**独自性の高い素材**を多数保有



※NEDO:新エネルギー・産業技術総合開発機構

素材・商品・ブランド開発

「ブランド」と「技術」の融合

キリン

食から医に
わたる領域

ファンケル

美・健康

両社の「ブランド力」や「技術力」を活かし
新発想の商品やブランドを開発

独自素材を活かした商品開発

キリン

高機能アミノ酸
免疫・脳機能・腸内環境に
関する機能性素材

ファンケル

科学的根拠のある
独自素材

生活習慣対策サプリメント
アンチエイジングなどのスキンケア商品の開発

共同研究・事業開発の推進

- ✓ 「生活習慣病」、「脳機能」、「フレイル」、「リハビリ対策」、「免疫」、「腸内環境」などの分野で共同研究
- ✓ 酵母・発酵技術を活かした化粧品の開発など
- ✓ 新たなビジネスモデルの開発

インフラの相互利用

- ✓ 生産面での協業
- ✓ チャネルの相互乗り入れ（キリンの自動販売機チャネル、ファンケルの直販チャネルなどの活用）

- 両社の強いブランド力に研究開発力を組み合わせ、お客様の美と健康に貢献できる、“飲料”、“食”、“スキンケア”などを幅広く提案していく。



紅茶市場No.1※1をはじめ
多彩なブランド群



クレンジング市場
シェアNo.1※2



機能性表示食品（サプリメント）
シェアNo.1※3



単独では実現できなかった、商品・研究シーズなどを組み合わせることで、
新たな価値創造（商品・ビジネスモデル）の実現に向けてスピード感を持って取り組む

※1 株式会社食品マーケティング研究所調べ（2018年出荷箱数実績）

※2 富士経済「化粧品マーケティング要覧2018」No.1 クレンジング(2017年実績)

※3 富士経済「H・Bフーズマーケティング便覧2019」No.3 機能性表示別市場分析編

(2017年実績)

KIRIN



よろこびが
つなぐ世界へ

Joy brings us together

FANCL

正直品質。

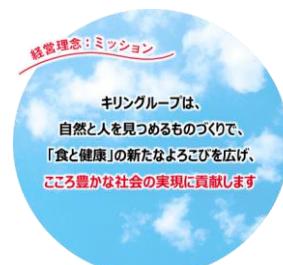
キリンホールディングスおよびファンケルによる 資本業務提携について ~社会課題の解決を通じて持続的な成長を目指す~

別 紙

キリンホールディングスの概要

社名	キリンホールディングス株式会社 (証券コード:2503)
設立年月日	1907年2月23日
本社所在地	東京都中野区中野4-10-2
代表者	代表取締役社長 磯崎 功典
資本金	1,020億円
時価総額	2兆811億円 (2019年7月31日時点)

企業方針



2027年の目指す姿: ビジョン
2027年までに達成したいこと

食から医にわたる領域で価値を創造し、CSV先進企業となる

“One KIRIN” Values

キリングループの一員として大切にする考え方・気持ち

熱意・誠意・多様性 (Passion. Integrity. Diversity.)

自由な発想で、進んで新しい価値をお客様・社会に提案することへの我々の熱い意志。会社やブランドに誇りを持ち、目標をやりきる熱い気持ち

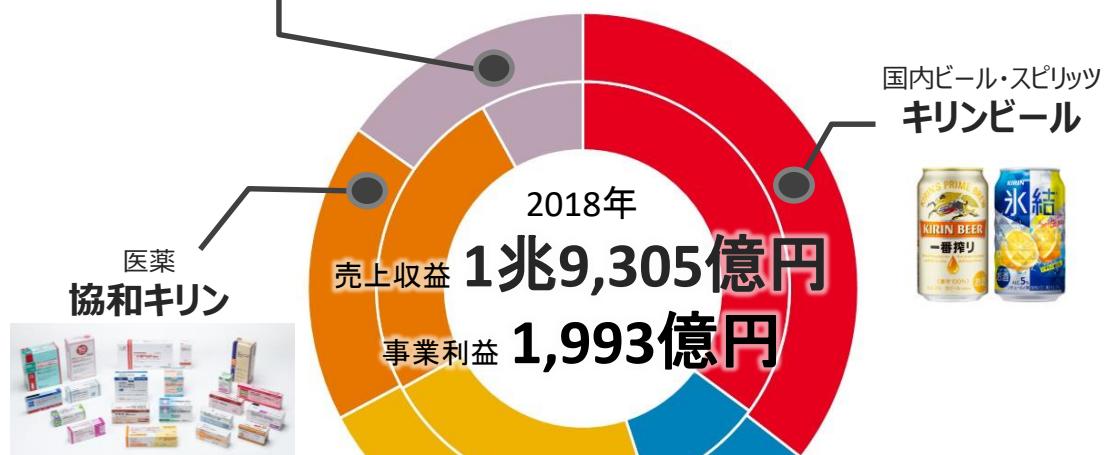
ステーキホルダーの皆さまのおかげでキリングループは存在していることへの感謝の気持ち、謙虚な気持ちで確かな価値を提供し、ステーキホルダーに貢献するという誠実さ

個々の価値観や視点の違いを認め合い、尊重する気持ち。社内外を問わない建設的な議論により、「違い」が世界を変える力、より良い方法を生み出す力に変わるとの信念



事業ポートフォリオ

その他
協和発酵バイオ、メルシャン
ミヤンマーブルワリー、CCNNE
小岩井乳業など



医薬
協和キリン

オセアニア総合飲料
ライオン



国内ビール・スピリッツ
キリンビール



国内飲料
キリンビバレッジ



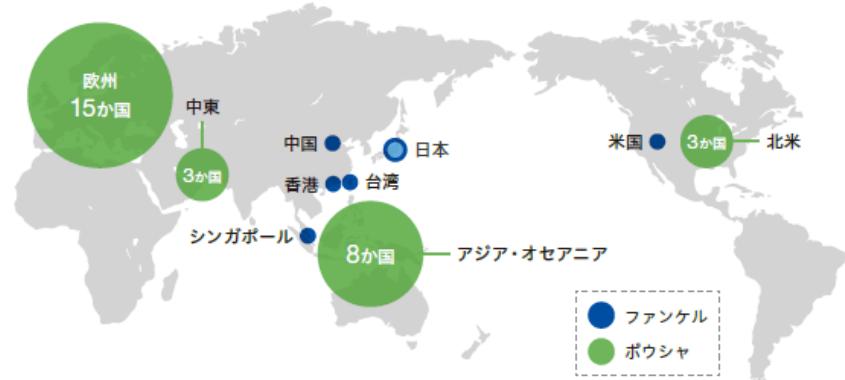
※円グラフは2018年末時点の事業セグメントに基づき作成されており、外円は売上収益、内円は事業利益の構成比を示しています。

※協和発酵バイオは、2019年第2四半期から「その他」事業セグメントに分類されています。

ファンケルの概要

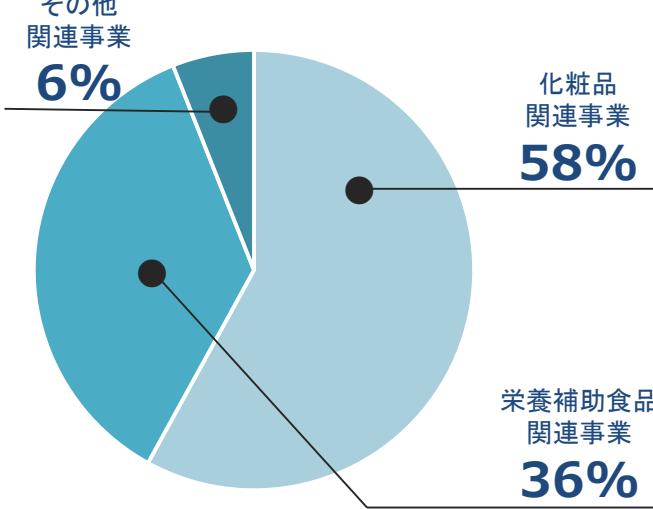
社名	株式会社ファンケル（証券コード:4921）
設立年月日	1981年8月18日
本社所在地	神奈川県横浜市中区山下町89-1
事業内容	化粧品・健康食品の研究開発、製造および販売
代表者	代表取締役 社長執行役員 CEO 島田 和幸
資本金	107億9,500万円
時価総額	3,303億円（2019年7月31日時点）
売上高	1,224億円（2018年度）
営業利益	123億円（2018年度）

グローバル展開



※ポウシャ：2002年にカリフォルニアで誕生した海外専用ブランド

事業別売上高

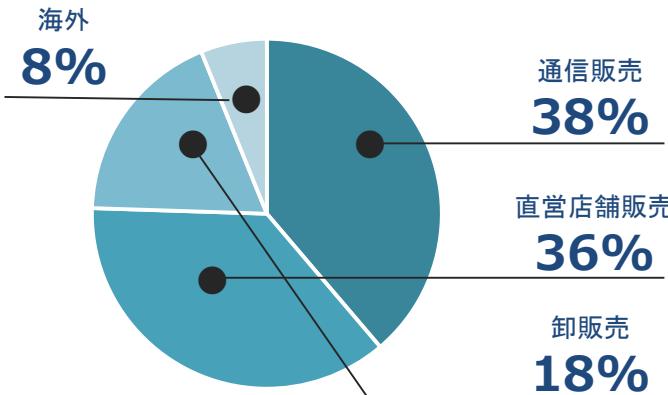


「ファンケル」「アテニア」等の化粧品



「カロリミット」「内脂サポート」等のサプリメント類

チャネル別売上高



うちネット通販53%

ファンケル 204店
アテニア 17店

ドラッグストア、コンビニエンスストア、総合スーパー等

両社の「ブランド力」、「研究開発力」、「販売力」を活かす

